

株式会社 **ニコン・トリンブル**
NIKON-TRIMBLE CO., LTD.

www.nikon-trimble.co.jp

本社

〒144-0035
東京都大田区南蒲田2-16-2
テクノポート大樹生命ビル

事業拠点

東京オフィス
〒144-0035
東京都大田区南蒲田2-16-2
テクノポート大樹生命ビル4階
(別館)
東京都大田区南蒲田2-16-1
テクノポートカマタセンタービル11階

札幌オフィス
〒003-0023
札幌市白石区南郷通二十丁目北3-28 札幌南郷ビル2階

大阪オフィス
〒564-0063
大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル10,11階

福岡オフィス
〒812-0895 福岡県福岡市博多区竹下5-8-35

蔵王オペレーションセンター
〒989-0701
宮城県刈田郡蔵王町宮字新大除20

白石オペレーションセンター
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字一本木3-3

子会社

サイテックジャパン株式会社
〒144-0035
東京都大田区南蒲田2-16-2
テクノポート大樹生命ビル4階
<https://www.sitech-japan.com/>

東莞尼康電子測儀有限公司
中国広東省東莞市長安鎮北源街 11 號 1 棟 101

Open up the future with
Nikon-Trimble

Corporate Profile

株式会社 **ニコン・トリンブル** 会社案内



Your Work & Nikon - Trimble

世界をはかり、未来をつくる。 地理空間情報のベネフィットを、すべての事業に。

光学機器メーカーとして100年の歴史を持つニコンと、GPS（全地球測位システム）受信機のバイオニアとして知られる米国のTrimble。両社の強みを活かしたジョイントベンチャーとして2003年に設立されたニコン・トリムブルのミッションは、地理空間情報分野におけるプロダクトやサービスを通じて、お客様の生産性向上に貢献することです。

私たちは、GNSS 受信機やトータルステーションを中心に、高品質・高精度な測量機器やソフトウェアを提供してきました。また近年では、3Dレーザスキャニング、航空測量、移動体計測などの新しい技術領域でも、数多くの実績を積み上げています。

現在、地理空間情報は、さまざまな事業分野への応用が期待される領域となっています。たとえば、i-Construction（情報化施工）では、位置情報やデジタルデータを駆使することで、従来よりも業務の正確性・安全性・効率性が飛躍的に向上。また、ICTやロボティクスを取り入れたスマート農業は、既存の農業のあり方に変革をもたらすソリューションとして注目されています。さらに今後は、社会インフラの維持管理や林業、自動運転開発分野など、さまざまな分野に地理空間情報が応用されていく時代が訪れるでしょう。

地理空間情報を通して事業の生産性向上に貢献し、より良い未来をともに作るパートナーであること。それが、私たちニコン・トリムブルの願いです。

Who We Are

1世紀にわたって伝統と信頼を育んできたニコンと、ダイナミックな革新性に満ちたTrimble。私たちは、個性の異なる両社のDNAを受け継ぐ、少し“複雑な”会社です。しかし、その“複雑性を乗り越える力”こそが、ニコン・トリムブルの価値だと考えています。

たとえば、私たちのミッション——地理空間情報を通じてお客様の生産性向上に貢献する——を実現するためには、優れたハードウェアやソフトウェアを世に送り出すだけでなく、日本の現場や商習慣に合わせて最適化していく柔軟な対応力やサポート体制が欠かせません。

また、これまでにない事業領域に挑戦するためには、既存の常識や組織に縛られない自由な発想力も必要です。多様な視点から物事を捉え、議論を尽くし、最先端の技術を掛け合わせながら、課題解決に向かっていく。そんな“複雑性を乗り越える力”こそが、お客様とともにより良い未来をつくっていくための原動力になると、私たちは信じています。

ニコン、トリムブル、そして独自の技術・プロダクト・ネットワークの掛け合わせにより、幅広いソリューションを提供しています。

Our Compass

1
地理空間情報技術をコア
にお客様の生産性向上
に貢献するプロダクトと
サービスを提供する

2
提案、販売からサポートまで
事業のパートナーとして
信頼されるプロフェッショナル
であること

3
“複雑性を乗り越える”
企業カルチャーこそが
より良い未来をつくって
いく

Business Fields & Solutions

事業領域とソリューション

「はかる」技術をコアに、GNSS/光学/レーザ/IMU(慣性測位装置)/画像処理などによる計測技術とソフトウェア技術、通信、IT技術を軸にしたプロダクト・サービス・ソリューションの提供を行っています。



農業・林業



GNSS位置情報をベースにした農作業機の制御から、センサーによる作物生育状況の把握、クラウドを活用した営農支援ソリューションなどで、農作業の効率化を推進します。

#スマート農業 #植林 #トレーサビリティ



土木



三次元設計データや通信・サーバー技術を駆使し、調査・計画から設計、施工、維持管理までの一連の建設プロセスで品質と安全を確保し、プロセスの最適化による生産性向上を実現します。

#i-Construction #道路 #港湾・河川 #ダム建設



建築



最新の技術とソリューションで、計画から設計、施工、竣工・維持管理に至るまでの建築ライフサイクル全体におけるコミュニケーションとコラボレーションの効率化を図り、安心・安全な建設作業をサポートします。

#BIM #墨出し #躯体位置管理



インフラ維持管理



画像取得と測距を同時に実行する画像計測ソリューションを開発。取得画像に位置情報を持たせることができるので、コンクリート橋梁ひび割れ検査などの変状調査をはじめ、構造物検査業務の効率化に貢献します。

#構造物メンテナンス #橋梁・ダム



測量・調査



社会整備の基礎となる測量業務において、フィールドシステムとオフィスソフトウェアをシームレスに連携させることで、踏査～現地観測～成果出力までの一連の測量作業の効率化を図り、高品質で正確なデータ取得を実現します。

#公共測量 #登記 #遺跡

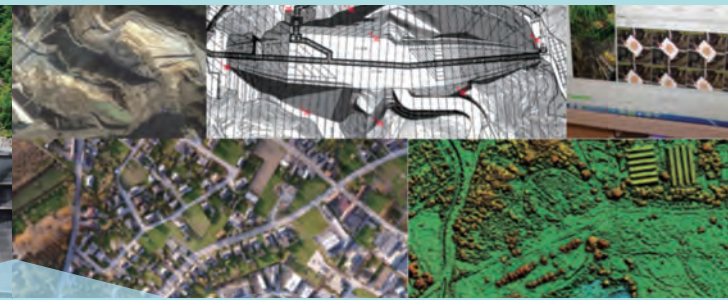


変位計測



GNSS、光学、レーザ、画像計測などの様々な計測技術と専用の解析ソフトウェアを融合することで、自然災害の危険区域のモニタリングや現況の効率的なデータ取得を実現します。

#地すべり #災害予防 #GNSS基準点



空間情報計測・GIS



正確なジオリファレンス画像や点群データなどの空間データを、空や地上から素早く取得する最先端ソリューションを提供しています。取得したデータは、その後の詳細な測量・調査や建設分野、インフラ維持管理、災害復興など様々な分野で活用されます。

#空間マッピング #環境調査 #災害対策



OEM、自動運転



慣性システムをベースにした開発プラットフォームの提供から、量産時のGNSS/慣性モジュールの提供まで。実績あるApplanixの慣性技術で貴社の自動運転開発を柔軟にサポートします。

#GNSS #慣性/IMU #移動体管理

Core Technologies | コア技術

ニコン・トリプルが得意とする4つのコア技術。これらの技術に、事業分野特有のアプリケーションなどのソフトウェアを掛け合わせることで、様々な事業領域に最適なソリューションの提供を可能にしています。

GNSS



GPSでの高い信頼と実績を誇るTrimbleの衛星測位技術は、QZSSをはじめとするマルチGNSS利用へと進化し、より高精度かつ効率的な測位と、様々な地理空間情報アプリケーションの提供を可能にしています。

光学・レーザ・画像



高い技術力で信頼と実績のあるニコンの光学設計、先進的な画像処理技術、長年の知見により培われた高精度レーザ計測技術を融合し、高精度でありながら使い易い一ータルソリューションを実現しています。

ジャイロ・慣性



主にGPS信号が遮られたときに使用される慣性技術は、加速度計とジャイロスコープを使用して、動きに基づいて連続位置を決定します。GPSを補完し、航空写真測量や車両追跡などの用途に使用されています。

製造

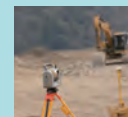


機械加工では、精密機器に必要な高精度部品を製造するために、国が定める技能検定資格の取得者が活躍しています。製品組立では、各工程に適した独自の組立工具や検査工具を製作・使用して、高品質・高精度な製品を安定して生産しています。

About Nikon-Trimble

ニコン・トリムブルは、日本初の光学機器メーカー ニコンと民生用GPS受信機のパイオニア Trimble の合併会社として2003年にスタートしました。以来、「お客様の生産性の向上に貢献できるパートナー」となるべくソリューションの拡充を図り、新たな分野開拓の可能性にもチャレンジしながら進化を続けています。

History & Innovation 沿革

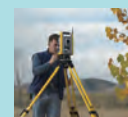


2017
スキャニングトータルステーション
「Trimble SX10」発売

「サイテックジャパン株式会社」設立
i-Construction 事業強化



2009
トータルステーション「Nivo」発売
業界最小・最軽量



2006
国内情報化施工市場本格参入



2005
トータルステーション「Trimble S6」発売
3Dレーザスキャナー 測量CAD「TOWISE」発売
取扱い開始



2002
国内精密農業市場に本格参入

1999
3Dマシンコントロール発表

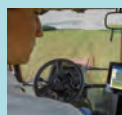
1992
国土地理院の最初の電子
基準点に「4000SSE」が採用
される

1984
世界初の民生用GPS受信機発売

1978創業
「Trimble Navigation Limited」
(米国)



2018
農業用 GNSS ガイダンス
「Trimble GFX-750」発売

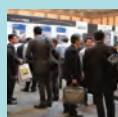


2015
画像計測ソリューション「Nivo-i」発表



BIM/CIM カンファレンス開催

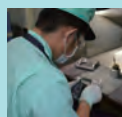
2012
第一回ニコン・トリムブル
ユーザカンファレンス開催



2007
土木施工支援システム
「LANDRIV」発売



蔵王ニコン測量機部門を統合、
製販一貫体制を確立

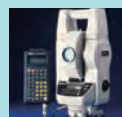


3D MC・MG「Trimble GCS シリーズ」発売

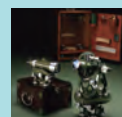


2003
「株式会社ニコン・トリムブル」設立
測量機販売事業の拡大

1997
フィールドステーション「GF-1」発売



1985
トータルステーション「DTM-1」発売



1947
レベル「E型」、トランシット「G型」発売



1917創業
「日本光学工業株式会社」

Engineering & Production 製品開発・製造

製品開発では、光学、機械、電気といった製品の基礎になる設計と業務フローに最適化されたソフトウェア・アプリケーションの開発を行っています。米国 Trimble 社の開発部門との共同開発も当社の強みです。

一方、蔵王工場では、高度熟練技能認定スタッフによる高精度加工から、組立、調達までを一貫して行っています。設計部門と製造部門の一体となった取組みにより、お客様や時代の要求に合った製品を高品質かつ迅速に提供します。



Sales & Support 販売・サポート

様々な分野のお客様のご要望にスピーディーに対応することができる、専門知識・現場経験を有したあるスタッフが私たちの強みです。

「こういう製品は開発できないのか?」「こんな課題がある」といったまだ形にならないご要望も、ぜひご相談ください。

ニコン・トリムブルは、地域に密着した販売・サポートネットワークを全国に展開しています。各都道府県の専門販売店やパートナーを対象に、製品やサポートなどのスキルアップトレーニングを継続的に実施することで、常にお客様ひとりひとりに対して最新・最適なお提案やサポートを行える体制作りにも取り組んでいます。



Research & Development & Sales & Support

国内外に広がる営業拠点、製品開発拠点、製造拠点の柔軟な連携と、そこをつなぐニコン・トリムブルの「人」。私たちは常にお客様の「生産性向上」に寄与するためにできることにフォーカスし、可能性を形づくっていきます。